

2022年6月～2023年3月

# 第49期包装学校募集要項

- 包装機械設計技術専門課程
- パッケージングエンジニア専門課程
- デジタル制御技術専門課程
  - モーション制御講座

## ■ 包装学校第49期生募集のご案内

日本包装機械工業会では、教育事業の一環として昭和49年に“包装学校”を開講し、以来48期5,066名にわたる包装スペシャリストを世に送り出し、少なからず、企業のため、業界のため貢献してまいりました。

本学校は、設計技術、パッケージングエンジニア技術、オペレータ技術、包装機械と包装資材との適正化技術、経営管理技術等の総合教育を目標としていますが、当初は、本格的な国際化時代に対応するための技術の向上を目的とし、生産の心臓部である設計課程を開講し、第2期生まで教育を行ってまいりました。

しかし、オイルショック後、日本経済が低成長時代に入り、各企業とも単なるセールスマンからセールスエンジニアの育成の必要性が高まり、当包装学校では新たにセールスエンジニアリング技術課程を設けましたが、セールスエンジニアの育成のみならず、ユーザの皆様にも受講し易く包装に関する総合的専門知識の修得を図れるよう名称を昭和58年よりパッケージングエンジニア専門課程と変更し、さらに第28期から、設計技術専門課程に実習講座を組み入れ、より一層の内容の充実を図っております。

講座修了者には修了証書を授与し、さらに資格認定試験合格者には、包装機械設計士・相談士の称号を授与いたしております。

また、近年包装機械のコンピュータ化が進み、その内容も高度になってきております。そこで、昭和63年よりコンピュータによる機械の制御を設計する人材の育成機関として、マイクロコンピュータ制御技術専門課程を設けました。令和4年第49期からは、デジタル制御技術専門課程に名称を変更し、より制御技術の深堀を計ってまいります。

過去48期生までの修了者の活動状況をみますと、いずれも社内の模範社員として信頼を得て、第一線で活躍し、多大な成果を収めています。

本年も第49期包装学校を6月に開講いたしますが、各企業の社員養成の一環としてご参加くださるようご案内申し上げます。

一般社団法人 日本包装機械工業会  
包装学校長 大森利夫

## ■ 講座の特色

包装学校は企業の総合的管理技術の向上を目的として昭和49年に設立されました。多くの包装スペシャリストを世に送り出し、関係各方面から高い評価を得ています。

昭和51年から従来の包装機械設計技術専門課程と別に新設したセールスエンジニアリング技術課程を、昭和58年からはパッケージングエンジニア専門課程と名称を変更し、両課程とも講義内容をより一層充実させております。

昭和63年からは、コンピュータソフトの開発・プログラム設計者のためのマイクロコンピュータ制御技術専門課程を設け、第49期からはデジタル制御技術専門課程に名称を変更し、業界の制御レベルアップを図ります。

第45期からは国際化に関する講義を追加し、また、カリキュラム全体を見直し一新いたしました。その後も、メカトロ技術に関する講義や国際規格に関する講座を新設しており、第47期からは、IoT・5G、AI・ビッグデータ等のIT技術に関するデジタル技術知識の講義を共通講座に新設するなど、常に時代の流れに合わせたカリキュラムにしております。

また、第47期より座学講座をオンデマンドビデオ配信システムへ移行し、受講生は講義を職場や自宅など場所を選ばず、自由な時間に繰り返し、柔軟に受講できるようになりました。

座学以外の開校式・オリエンテーションやグループディスカッション、ディベートディスカッション、設計技術専門課程の実習講座・デジタル制御技術専門課程の実習講座など、従来のリアルな対面講座とのハイブリッド型カリキュラムとしております。

尚、オンデマンド講座受講に関して、ビデオ配信は『Google ドライブ』での配信となりますので、それに対応したWindows10を搭載したパソコンが必要となります。

## ■ 共通講座（包装機械設計技術専門課程・パッケージングエンジニア専門課程）

包装人として必要な知識の修得を目的に、包装機械業界の動向、包装資材、安全・衛生、特許、国際規格、ロボット・IT技術の最新動向、など幅広い講座としております。

## ■ 包装機械設計技術専門課程

目的と認識・対象の把握・対象改善の働きかけ・基礎実験・設計仕様の設定・構想と想像性、これらの設計手順をカリキュラムとした教育体系となっており、設計技術の仕事に2年以上携わった方々を対象としております。

第28期からは、電子回路編・機械編として実習講座を組み入れ、さらに実践的になっております。

## ■ パッケージングエンジニア専門課程

第9期まではセールスエンジニアリング技術課程と称し、セールスエンジニアの育成を目的としてまいりましたが、第10期からパッケージングエンジニア専門課程とし包装に関する総合的専門知識を修得できるように組み立てられたカリキュラムとなっており、本格的な包装人の育成を目的としております。

## ■ デジタル制御技術専門課程

包装機械のコンピュータ化が近年急速に進み、モーション制御をはじめ、その内容も高度なものになってきているなか、ソフトの開発・プログラム設計する人材の育成機関として本課程を取り込み、少数精鋭の集中講義により、業界のレベルアップを図ることを目的としております。

本講座は、制御関連の仕事に1年以上携わった方々を対象として、包装業界及びメカトロ機械に関する基礎講座とサーボモータを搭載したトレーニングデモ機を使用したモーション制御の実習講座で構成した専門講座としております。

# 第49期包装学校

◎包装機械設計技術・パッケージングエンジニア共通講座  
(2022年6月～2023年3月)

No.	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
1	6月17日(金) 10:00～17:00 会場は、 包装機械会館2階	6月24日(金) 10:00～17:00 会場は、 大阪商工会議所	開 講 式	包装学校長 企画運営委員	6
			オリエンテーション (グループワーク)	企画運営委員	

No.	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
2	オンデマンド配信期間 7月18日(月)～8月15日(月)	包装産業事情と包装人	大森 利夫 氏 (一社)日本包装機械工業会 会長 大森機械工業(株) 代表取締役社長	3
		包装機械の基礎知識とトラブル対応(前半)	一岡 幹朗 氏 大森機械工業(株) 取締役 管理本部長	3
		包装機械の基礎知識とトラブル対応(後半)	一岡 幹朗 氏 大森機械工業(株) 取締役 管理本部長	3
		包装自動化の進め方	牧野 研二 氏 ゼネラルパッカー(株) 代表取締役社長	3
3	オンデマンド配信期間 8月16日(火)～9月12日(月)	包装概論とプラスチック系包装材料(前半)	加藤 武男 氏 加藤包装技術事務所 所 長	3
		包装概論とプラスチック系包装材料(後半)	加藤 武男 氏 加藤包装技術事務所 所 長	3
		包装材料の知識(2) 段ボール	浅香 智之 氏 レンゴ(株)包装技術部 東京包装技術第一課 担当課長	3
		包装材料の知識(3) 紙器・板紙	小島 正人 氏 王子パッケージング(株) 生産本部 愛知事業所長	3
4	オンデマンド配信期間 9月19日(月)～10月17日(月)	包装機械と衛生	橋本 光冬 氏 元・森永製菓(株) 品質保証部 主席研究員	3
		仕様書・取扱説明書の在り方	増田 康弘 氏 (株)東京自働機械製作所 設計開発部 先端技術研究室 技術・特許課 課 長	3
		ロボットの最新事情	瀬川 友史 氏 PwCコンサルティング合同会社 シニアマネージャー	3
		包装システムと検査装置	植山 英弘 氏 アンリツ(株)インフィビスカンパニー グローバル事業推進本部 Iブランディング部	3
5	オンデマンド配信期間 10月24日(月)～11月21日(月)	包装と印字	山口 礼司 氏 イーデーエム(株) 技術本部 開発部 ゼネラルマネージャ	3
		海外出荷に伴う国際規格	西村 宏之 氏 (株)SCREENクリエイティブコミュニケーションズ 営業推進部 マネージャー	3
		デジタル技術の現状と今後 ーIoT、5G、AI、ビッグデータ等ー	岡部 忠 氏 (地独)東京都立産業技術研究センター 開発本部 情報システム技術部 IoT技術グループ 主任研究員	6
6	オンデマンド配信期間 11月22日(火)～12月19日(月)	安全工学	池田 博康 氏 (独)労働者健康安全機構 新技術安全研究グループ 特任研究員	6
		包装機械と特許	橋本 虎之助 氏 橋本総合特許事務所 所 長 (弁理士)	6

No.	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
7	11月25日 (金) 10:00~17:00 会場は、 包装機械会館2階	12月2日 (金) 10:00~17:00 会場は、 大阪商工会議所	グループディスカッション マーケティングの基礎知識	吉川 雅之 氏 元・産業能率大学 経営学部 教授	6

No.	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
8	オンデマンド配信期間 2月27日 (月) ~ 3月20日 (月)	食品を巡る包装の現状と将来展望	石谷 孝佑 氏 (一社)日本食品包装協会 理事長 農学博士	6

No.	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
9	3月9日 (木) 10:00~17:00 会場は、 包装機械会館2階	3月16日 (木) 10:00~17:00 会場は、 大阪商工会議所	ディベートディスカッション	企画運営委員	6
			修了式	包装学校長 企画運営委員	

◎包装機械設計技術専門課程(2022年12月~2023年3月)

No.	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
10	オンデマンド配信期間 12月20日 (火) ~ 1月16日 (月)	機構学の基礎、駆動システムの選び方	西田 麻美 氏 (株)プラチナリンク 代表取締役 工学博士	6
		設計と生産技術	山村 憲司 氏 (株)古川製作所 総務部 副部長	3
		ケーススタディ ー溶断シール装置と収縮包装ー	井上 敬一 氏 トキワ工業(株) 取締役 技術部長	3
11	オンデマンド配信期間 1月24日 (火) ~ 2月20日 (月)	初歩から学ぶ制御工学	西田 麻美 氏 (株)プラチナリンク 代表取締役 工学博士	6
		電子回路(1) 電子回路の基礎知識	浅野 博 氏 関東職業能力開発大学校 生産電子情報システム技術科 教授	6

No.	東京会場	大阪会場	テ ー マ	講 師	時間
12	1月12日 (木) 10:00~17:00 会場は、 高度ポリテクセンター	1月26日 (木) 10:00~17:00 会場は、 ポリテクセンター関西	実習講座(電子回路編)	高度職業能力開発促進センター 関西職業能力開発促進センター	6
	1月13日 (金) 10:00~17:00 会場は、 高度ポリテクセンター	1月27日 (金) 10:00~17:00 会場は、 ポリテクセンター関西	実習講座(機械編)	高度職業能力開発促進センター 関西職業能力開発促進センター	6

No.	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
13	オンデマンド配信期間 2月6日 (月) ~ 3月6日 (月)	電子回路(2) 制御の基礎知識	浅野 博 氏 関東職業能力開発大学校 生産電子情報システム技術科 教授	6
		機械設計とデザイン	豊永 俊之 氏 豊永デザインオフィス 代表	6

◎パッケージングエンジニア専門課程(2022年12月～2023年3月)

No.	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
10	オンデマンド配信期間 12月26日(月)～1月23日(月)	ケーススタディ(1) ー横ピロー包装機の基礎知識ー	一岡 幹朗 氏 大森機械工業(株) 取締役 管理本部長	3
		ケーススタディ(2) ー縦ピロー包装機の基礎知識ー	窪井 宏行 氏 (株)川島製作所 技術本部 技術企画部 次長	3
		海外取引の常識	渡辺 広志 氏 (株)東京自働機械製作所 MG営業部 次長	3
		ケーススタディ(3) ー共同開発・その他の技術契約についてー	岡村 剛敏 氏 大和製衡(株) 取締役 管理本部長 兼 企画本部長	3
11	オンデマンド配信期間 2月13日(月)～3月13日(月)	食品包装設計	清水 啓介 氏 清水KSK技術士事務所 所長(包装専士)	3
		医薬品包装機械のバリデーション	中島 智 氏 CKD(株) 自動機械事業本部 PP事業統括部 技術部	3
		医薬品包装の現状の課題とこれから 求められる包装について	葛生 仁 氏 サトーホールディングス(株) イノベーションラボ エキスパート	3
		マーケティング戦略と パッケージデザイン	久和野 英明 氏 大日本印刷(株) 包装事業部 イノベティブ・パッケージングセンター 企画本部 プランニング3部 部長	3



私は、包装学校を受講することで知識の幅を広げることができたと感じています。

講義では、包装機・包装材料の基礎知識、設計に関する専門課程の他、印字・検査装置・衛生管理・環境問題・事故の事例等、通常業務では詳しく知り得ない分野についても幅広く学ぶことができました。また、グループワークでは包装学校に参加されている他社の皆様と意見を交換し、グループ全員で一つの課題に向き合った事も貴重な経験となりました。

私は包装機メーカーにて上包機の設計に携わっています。普段業務を行っている担当機種に関わる分野に知識が偏りがちになりますが、同じ包装業界でも他分野を知ること、またその分野で生きる方々にリアルな意見を伺えたことは、今後設計を行う上で得るものがたくさんあったと感じています。今後はこの一年間で得た知識・考え方を生かし、視野を広く持って、より良い設計が出来るよう努めたいと思います。

最後になりますが、ご多忙の中ご教授頂いた講師の皆様、包装学校事務局の皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

第46期包装学校  
第46回包装機械設計技術  
専門課程修了生

現在、私は食品メーカーにて充填・パッキング部門で生産管理及び新規生産設備の導入に携わっております。

私の部署では、種々の包装機械に加え、容器、ラベル、段ボールなどの包装資材を使用しておりますが、その資材に由来するトラブルに直面することが多くあります。そうした際に、機械だけでなく資材に関する知識が十分でなければ、原因の推定や追及、改善は難しいと考えておりました。そのような課題意識があったことから、包装全般について学ぶことのできる包装学校を受講させていただきました。

講義の中では、包装業界全体の状況を通したマクロな講義から、各種包装機械や資材の専門知識、マーケティング、ロボットなど幅広いミクロな知識まで吸収することができました。どの講義も自分の業務とつながる部分があったため、今後うまく活用しながら視野広く業務遂行に役立てていきたいなと思います。

最後になりますが、ご教授いただいた講師の皆様、事務局の皆様、受講中の業務を支えてくださった会社皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

第46期包装学校  
第44回パッケージングエンジニア  
専門課程修了生

現在私は、充填機メーカーにて充填機の設計に携わっております。

充填機の設計ではお客様のご要望に応じて、充填機の仕様を変更する必要があり、そのためには充填機の知識だけではなく、容器、蓋、オーバーキャップなどの包装資材についての知識も必要となります。今回の講義を通じて包装機、包装材料の基礎知識などを学ばせていただいただけではなく、食品メーカーの環境マネジメントシステム、海外出荷に伴う国際規格、デジタル技術の現状と今後(Iot,5G,ビッグデータなど)といった普段ではなかなか知り得ない分野についても知識を深めることができました。

また、オリエンテーションでのグループワークでは、与えられた課題について包装学校に参加されている他社の営業職、技術職の方々と意見交換をさせていただき、視野を広く持つことの重要性を改めて実感し、貴重な経験となりました。

最後になりますがコロナ渦中で大変な中、ご教授いただいた講師の皆様、事務局の皆様、受講の機会を与えてくださった会社皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

第47期包装学校  
第47回包装機械設計技術  
専門課程修了生

私は包装学校の講義を通して、自分の知識の幅を広げることができたと感じました。

また新型コロナウイルスの影響から、オンデマンドの授業で初めは不安なことがありましたが、自分のペースで資料を読み、考えることが出来ました。

講義の中では、包装機や資材関係、安全面や最近の技術についてなど自分の業務に直接関わる部分から実際の業務だけでは触れる機会がない部分まで幅広く学ぶことができました。どの講義も包装梱包ラインを検討する上で知識として必要なものばかりであったため、自分の業務に大きくつながることから、この学びを活かし業務に励みたいと思いました。また、去年までとは大きく変化した社会情勢から今後の包装機械分野についても考えるいい機会となりました。

最後になりますが、ご多忙の中並びに新型コロナウイルスの影響で急遽オンデマンド体制になったにもかかわらず、ご教示いただいた講師の皆様、包装学校事務局の皆様にご感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

第47期包装学校  
第45回パッケージングエンジニア  
専門課程修了生

私は包装学校を受講して、自分の知識の幅や視野を広げることができたと感じています。

コロナウイルスの影響でオンデマンドでの受講でしたが、それぞれの各講義を自分のペースで受講することができました。

講義では、基礎知識・専門課程の他、衛生管理・環境問題・事故の事例、国際規格・ロボット・デジタル技術等、普段の業務では詳しく知り得ない分野についても幅広く学ぶことができ、知識を深めることができました。

また、グループワークでは与えられた課題について包装学校に参加されている他社の皆様と意見交換をし、様々な角度からの意見を伺えたことは、これから設計業務を行う上での貴重な経験となりました。今後は、この1年間の講義で得た知識・経験を活かし、視野を広く持って業務に励んでいきたいと思っています。

最後になりますが、ご多忙の中ご教授頂いた講師の皆様、包装学校事務局の皆様、受講の機会を与えてくださった会社の皆様にご感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

第48期包装学校  
第48回包装機械設計技術  
専門課程修了生

私は、包装学校を通じて、包装の知識を身に着けるとともに、視野を大きく広げることができました。

講義では、包装の歴史、関連法規、環境問題などの一般的な内容から、包装機械、材料、AIやIoTなどの技術的な内容に至るまで、包装に関する幅広い分野について勉強させて頂きました。また、ディスカッションや課題レポートでは、技術者としての心構えや仕事への取り組み方について改めて考える機会を頂きました。日々の仕事の中では、目の前の課題に取り組むことに精一杯で、どうしても視野が狭くなってしまいがちです。そんな中、包装学校を受講したこの1年間は、包装技術だけでなく自分自身を広い視野で俯瞰して見つめ直すことができ、私にとって大変貴重な時間となりました。今後は、包装学校で大きく広がった視野を活かして様々な課題にチャレンジすることで、花王の「よきモノづくり」を实践できる技術者を目指したいと思います。

最後に、お忙しい中分かり易く丁寧にご教授頂いた講師の皆様、オンラインを活用し快適な受講環境を提供して頂いた包装学校事務局の皆様にご心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

第48期包装学校  
第46回パッケージングエンジニア  
専門課程修了生

## ■ 募集要項 ■ 包装機械設計技術専門課程 ■ パッケージングエンジニア専門課程

■ **受講資格** 高校卒業以上の基礎学力を有し、且つ、関連業務に実務経験を有するもの。  
(原則として所属長の推薦を必要とします。)

■ **定員**

●包装機械設計技術専門課程	50名
●パッケージングエンジニア専門課程	50名
●東京会場 50名	大阪会場 50名

■ **受講期間** 2022年7月～2023年3月

■ **受講料** (全期間通し)

●包装機械設計技術専門課程	●会 員 340,000円 (税別)
	●非会員 390,000円 (税別)
●パッケージングエンジニア専門課程	●会 員 320,000円 (税別)
	●非会員 370,000円 (税別)

(テキスト、資料費、集合教育昼食費等を含む)

■ **申込み受付期間** 2022年4月1日～5月13日  
申込順に受付け、定員になり次第申込を締切らせていただきます。

■ **申込み方法** 当会ホームページより所定の入学願書を下記URL又は、QRコード先よりダウンロード下さい。  
URL : <https://www.jpmma.or.jp/school/contact.html>  
必要事項をご入力の上、原則として、電子データ(Excel・PDF)をメール添付にて、下記、事務局宛にお申し込みください。  
一般社団法人 日本包装機械工業会・包装学校事務局  
●東京都中央区新川2-5-6包装機械会館 〒104-0033  
E-mail : [school49@jpmma.or.jp](mailto:school49@jpmma.or.jp) TEL.03-6222-2279 FAX.03-6222-2280



受講料の振込は、下記の銀行口座をご利用ください。  
取扱銀行： 三菱UFJ銀行 八重洲通支店(普通預金1955300)  
口座名： 一般社団法人 日本包装機械工業会  
口座名義 シヤ)ニホンハウソウキカイコウギョウカイ  
恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担願います。  
但し、いったん振込まれた受講料は、原則としてお返し致しません。

■ **修了** 次の両項の条件を充たす履修者には、修了証を授与いたします。  
●講義の所定日数に出席したもの。  
●試験答案を提出し、規定点以上の成績を取得したもの。

■ **称号授与** ●各課程の修了者で、成績優秀な者を認定試験により、それぞれ「包装機械設計士」・「包装機械相談士」として認定し、認定証を授与いたします。

■ **修了者の特典** ●授与された称号は、名刺等印刷物に使用できます。  
●包装機械情報メール「P&M 通信」その他関係資料が送付されます。  
●その他、工業会主催の講演会に優待招待されます。

# 一般社団法人 日本包装機械工業会 第49期包装学校 入学願書

- 第49回 包装機械設計技術専門課程 (いずれかにチェックを)  
 第47回 パッケージングエンジニア専門課程 (ご入力ください)

<お申込方法>

当会ホームページ(<https://www.jpmma.or.jp/school/contact.html>)又は  
 右記のQRコード先より申込み用紙をダウンロードいただき、  
 電子データ(Excel・PDFファイル)にて、メール添付のうえ  
 事務局アドレス『school49@jpmma.or.jp』までご送信ください



申込年月日	2022年	月	日
工業会会員	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 (いずれかにチェックをご入力ください)		

## 1. 入学者

ふりがな				生年月日(西暦)		
入学者氏名				年	月	日生
勤務先住所	〒					
会社名						
電話番号				FAX番号		
所属役職名				現職経歴	年	ヵ月
E-mail	※各月の講座案内に使用致します お間違いが無いようご入力ください					
最終学歴	学校名			(西暦)	年	月 卒業・中退
会場	<input type="checkbox"/> 東京会場で受講します <input type="checkbox"/> 大阪会場で受講します いずれかにチェックをご入力ください					

## 2. ご推薦者

<h3>推薦書</h3> <p>一般社団法人 日本包装機械工業会内 包装学校事務局 御中                  上記入学願書に記載の者は、包装学校の受講適格者であると認め、推薦致します。</p>						
推薦年月日	2022年	月	日			
勤務先住所	〒					
会社名						
推薦者氏名				所属役職名		
E-mail				電話番号		

## 3. 請求書先ご担当者

ご推薦者・入学者の方がご担当の場合は、下記にチェックを頂くのみで結構です <input type="checkbox"/> 推薦者と同様 <input type="checkbox"/> 入学者と同様						
担当者氏名						
所属役職名						
E-mail				電話番号		

担当・お問い合わせ先

〒104-0033 東京都中央区新川2-5-6 包装機械会館3階 一般社団法人 日本包装機械工業会 包装学校事務局

E-mail : school49@jpmma.or.jp TEL : (03)6222-2279 / (03)6222-2275 FAX : (03)6222-2280

技術部 : 荒井 拓己・鈴木 由太加 総務部 : 長谷 雄仁

当会使用欄			
受付番号		受付月日	月 日

## デジタル制御技術専門課程受講生(第1回)

### 募集のご案内

#### 〈包装学校第49期生〉

近年、包装機械の制御にマイクロコンピュータを使用することは、もはや不可欠の技術となりました。このため、マイクロコンピュータ制御技術を駆使した包装機械の開発計画を進め、そのアフターフォローまでの業務を効率的に運ぶには、優秀なコンピュータ技術者の採用または企業内での育成が必要です。しかしながら現実には、技術者の確保は極めて難しく、設計からアフターフォローまで、かなりの部分を外部依存しているのが実状であります。

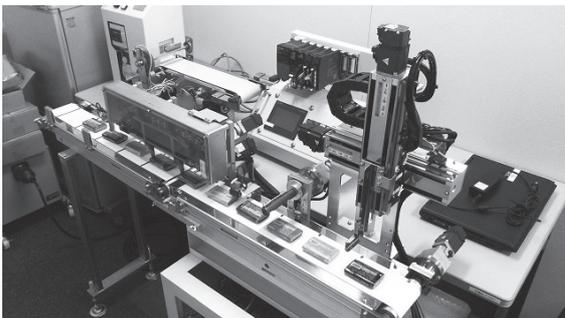
このため、昭和63年度より「マイクロコンピュータ制御技術専門課程」を設け、第49期からは「デジタル制御技術専門課程」に名称を変更し、制御設計の仕事に1年以上携わった方々を対象として、包装業界及びメカトロ機械開発に関する基礎講義とサーボモータを搭載したトレーニングデモ機を使用したモーション制御の実習講義で構成した専門講座にいたしました。サーボモータ制御及びモーションコントロール技術をより深く修得いただけるようにしております。

本課程は、業界からの強い要望に応じて開設した講座です。募集人数を従来の最大8名から16名に拡大いたしました。

本年6月より第1回の開講となりますが、当講座の主旨をご理解の上、業界の明日を担う各社の技術水準向上のため、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本包装機械工業会  
包装学校長 大森利夫

- 包装機械にモーション制御技術を導入するための教育です。
- 「モーション制御講座」は、オンデマンド基礎講座とトレーニングデモ機を使用した実習に重点をおいております。
- 実習に使用しますパーソナルコンピュータ(ノート型)を貸し出し致します。(無料)
- 経験豊富な講師陣により、懇切丁寧な指導が受けられ、短期間で必要な知識を修得できます。



## 第49期包装学校 ●デジタル制御技術専門課程（2022年6月～）

### 開講式・オリエンテーション

日 時	テ ー マ	講 師
6月17日(金) 10:00~17:00 会場は、 包装機械会館2階	開 講 式 オリエンテーション (グループワーク)	包装学校長 企画運営委員

### モーション制御講座

#### 基礎講座 オンデマンド講座

No.	オンデマンド講座	テ ー マ	講 師	時間
1	オンデマンド配信期間 7月18日(月)～8月15日(月)	包装産業事情と包装人	大森 利夫 氏 (一社)日本包装機械工業会 会長 大森機械工業(株) 代表取締役社長	3
2	オンデマンド配信期間 7月18日(月)～10月17日(月)	包装機械のメカトロニクス化	畑野 真人 氏 (一社)日本包装機械工業会 技術部 部長	3

### 実習講座

(実際の包装機械に採用されている機械制御の言語とトレーニングデモ機を使用して、機械を制御するために必要な知識とプログラミングのテクニックを習得します。)

日 時	テ ー マ	講座のポイント(狙い)	講 師
A日程 10月25日(火) B日程 10月31日(月) 10:00~17:00 包装機械会館2階	PLC(シーケンサ) ・ユニット構成特徴 ・開発ツールの操作(簡単な回路を作成) モーションコントローラの特徴 ・マルチCPU構成の概念 ・モーションプログラム概要 ・モーションプログラムの作成方法 ・同期制御概念 運転シーケンス(ラダー言語トレーニング) ・メカデモ機にて自動運転回路を作成 トレーニングデモ機 ・デモ機仕様書説明 ・デモ機モーションシステム概要説明 ・機械原点復帰動作説明 ・初期位置移動量の方程式(計算式作成トレーニング)	プログラミングツール操作を習得する  モーションコントローラシステム構成を理解する モーションプログラムを理解する モーションプログラム言語の作成方法を習得する 同期制御の意味を理解する メカデモ機で運転シーケンス回路を作成する 運転回路の標準化の重要性を把握する  仕様書の重要性を理解する デモ機のシステム構成を把握する 横形ピロー特有の原点復帰動作を理解する 横形ピロー特有の仕様を理解する	畑野 真人 氏 (一社)日本包装機械工業会 技術部 部長  鈴木 理 恵 氏 三菱電機(株) FAシステム事業本部 FAエンジニアリングサービスセンター FAフィールドエンジニアリング部
A日程 10月26日(水) B日程 11月1日(火) 10:00~17:00 包装機械会館2階	・初期位置移動量の算出 (モーションプログラムトレーニング) ・デモ機モーションプログラムの説明 不等速データテーブル (カムデータ作成トレーニング) ・色々な動作を体験(縦ピロー、ケーサなど) デモ機の制御システム、プログラム構成説明 ・タスクの説明 タイミングカム、クラッチ、シフト機能の説明 応用実習兼修了認定試験の課題説明 (タイミングチャート作成、プログラム 作成及びデバック)	カムデータの動作を体感する  他機種への応用を創造する デモ機の制御システムを理解する  タイミングチャートの重要性を把握する	
A日程 10月27日(木) B日程 11月2日(水) 10:00~16:00 包装機械会館2階	応用実習兼修了認定試験 レジマーク制御概要の説明 他社のモーションコントローラの紹介 デモ機を使っでの自由実習	レジマーク制御の考え方を理解する  他社コントローラとの相違点を知る モーション制御設計に自信を持つ	

### 修了式(講座の修了者が対象となります)

日 時	テ ー マ	講 師
2023年 3月9日(木) 15:30~17:00 包装機械会館2階	修 了 式(東京)	包装学校長 企画運営委員
2023年 3月16日(木) 15:30~17:00 大阪商工会議所	修 了 式(大阪)	

私は、自動包装機の電気設計を行っています。主に、ラダー言語を使用しているのですが、他言語を学習し、今後の電気設計に活かしたいと思い今回の講義を受講することになりました。

第43期(第29回)修了生

Visual Basic講座、C言語講座、PLC講座の3講座を受講しました。ラダー言語以外のプログラムを扱ったことがない為、大変不安でした。しかし、各講師の方が丁寧に基礎から指導して頂くことで楽しく行うことが出来ました。実際にトレーニングキットにて作成したプログラムの動作確認をすることで、より理解が深まりました。また、他の受講生のプログラム作成方法、考え方の違いを見ることで、答えにたどり着く回路をいかにシンプルにわかりやすく作成する大切さも学びました。

今後の業務では、講座で学んだ知識を活かし、新しいことに挑戦していきます。

最後にご指導くださった講師の方々、包装学校事務局の方々、講義で共に学んだ受講生の皆様、そして受講させて下さった会社に深く感謝いたします。有難うございました。

普段の業務では開発中・開発後の機械の能力を測定する業務が主です。今回は制御設計に携われるようにと会社の方からマイクロコンピュータ制御技術専門課程を受講する機会を頂きVisual Basic講座、C言語講座、PLC制御講座の3講座受講しました。

第44期(第30回)修了生

3講座でそれぞれ配られたテキスト・資料が丁寧であり、各講師がとても分かりやすく指導してくださいました。分からない部分は分かるまで根気よく質疑応答してくださいプログラムを基礎を理解することが出来ました。また、少人数での講義であったため各々のプログラムを紹介しあう時間もあり、1つの制御に対して様々なアプローチの仕方があることも知ることができプログラムを組む楽しさを体感しました。制御のことが全く分からなかった私にも3講座修了することが出来き、さらに終了後もより知識を深めプログラムを組みたいという思いになりました。業務で活かすことができるよう邁進致します。

ご指導していただいた講師の皆さま、包装学校事務局の皆さま、共に講義を受講した皆さまに深く感謝いたします。有難うございました。

私は、日常業務において主にラダー言語を用いたプログラミングに従事しています。

第45期(第31回)修了生

会社よりマイクロコンピュータ制御技術専門過程を受講する機会をいただき、普段は触れることの無いC言語やVisual Basicといった他言語の修得や初心に戻って学び直すことで自身の知見を広げる良い機会ではないかと考え、全3講座を受講させていただきました。

各講座においてテキストも分かりやすく、講師の方々も懇切丁寧に基礎から教えていただいたことで非常に理解が深まりました。また、実機やトレーニングキットを用いた演習問題も多く、自分で作ったプログラムの動作確認がすぐに出来たことも理解する手助けになったと思います。課題毎に各々が作成したプログラムを紹介する機会があり、人によって内容が三者三様で自分に無い発想がたくさんあり非常に興味深かったです。

全3講座を受講して、他言語の修得が出来たことや新たな発見があったことで自身の知見が広がったと思います。貴重な経験をさせていただきました。

最後にご指導いただいた講師の方々、包装学校事務局の皆様、共に講義を受講した皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

第46期(第32回)修了生

普段の業務では機械設計を担当しており、マイクロコンピュータ制御の知識はほとんどありませんでした。近年のトレンドからプログラミングの必要性を感じ、独学にて学んでおりましたところ、業務での活用場面も増えてきましたので、技術習得の加速と活用場面の拡大を目的として参加させていただきました。

Visual Basic講座、C言語講座、PLCメカトロ制御講座の全てを受講いたしました。が、「教育速度」と「実習」が特に良かったと感じました。「教育速度」ですが、最初は畑違いの私がついていけるか不安でしたが、どの講座も個人のレベルに合わせて教育していただけのため、容易に理解することができました。「実習」ですが、実機を用いた講座が多く、独学ではコストがかかり習得しにくい部分を習得できました。

すぐに業務に活用できる内容でしたので、早速業務で活用させていただいております。

最後にご指導いただいた講師の皆様、包装学校事務局の皆様、講義の中で共に学んだ皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

第47期(第33回)修了生

私は包装機の組立・配線・改造等のハードウェア中心の業務に従事し、プログラム等のソフトウェア系に関しては別部門が担当していましたが、今回、会社よりPLCメカトロ制御講座を受講し、ソフトウェアについての知識を深める機会をいただきました。

講座が始まるまで不安でいっぱいでしたが、基礎から書かれたテキストと講師の方々の丁寧な指導、さらに解らない部分も質疑応答にて根気よく教えて下さり、実習機での動作確認で望む動きを理解・体感することができました。

また他の受講生が考えたプログラムにも触れる機会があり、それぞれの発想・着眼点にたいへん興味深いものがありました。

今後は講座で学んだ知識や技術を業務で活用できるように努力したいと思います。

ご指導いただいた講師の皆様、包装学校事務局の皆様、講義を共に受講した皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

第48期(第34回)修了生

私は普段の業務で、検査機を用いたシステムの電気設計、PLC制御設計を担当しています。今までPLCに関する研修にあまり参加したことがなく、今回は良い機会に恵まれてPLCメカトロ講座に参加させていただきました。

初めてで付いていけるか不安な分野もありましたが、ツールの使い方等も1から教えて頂けて安心でした。デモ機と、1人1台のパソコンがあるため、ただ講義を聞くだけの研修ではなく、実習できる時間がとても多かったです。悩んだ時も、プログラムをインストールして実際にデモ機を動かしてみることで、プログラムと実際の動作が結びつき、理解しやすかったです。自社製品以外の機械のプログラムを考えることは滅多にない体験ですし、他の人の回答も見ることができて、自分とは違うプログラムの作り方や、使ったことのない命令があり、勉強になりました。

今回学んだことを業務に活かし、より良い設計をしていきたいと思っております。

講師の皆様、包装学校事務局の皆様、講義を共に受講した皆様、ありがとうございました。

## ● 募集要項 ■ デジタル制御技術専門課程

● 受講資格 制御関連の仕事に1年以上携わった方。

● 定員 ● モーション制御講座……16名

● 受講料 ● モーション制御講座  
会員 130,000円(税別)  
非会員 180,000円(税別)  
(テキスト、資料、昼食費、等を含む)

● 申込み受付期間 2022年4月1日～5月13日  
申込順に受け付け、定員になり次第申込みを締切らせていただきます。

● 申込み方法 当会ホームページより所定の入学願書を下記URL又は、QRコード先よりダウンロード下さい。  
URL : <https://www.jpmma.or.jp/school/contact.html>  
必要事項をご入力の上、原則として、電子データ(Excel・PDF)をメール添付にて、下記、事務局宛にお申し込みください。  
申込宛先：一般社団法人 日本包装機械工業会・包装学校事務局  
東京都中央区新川2-5-6包装機械会館 〒104-0033  
E-mail : [school49@jpmma.or.jp](mailto:school49@jpmma.or.jp) TEL.03-6222-2279 FAX.03-6222-2280

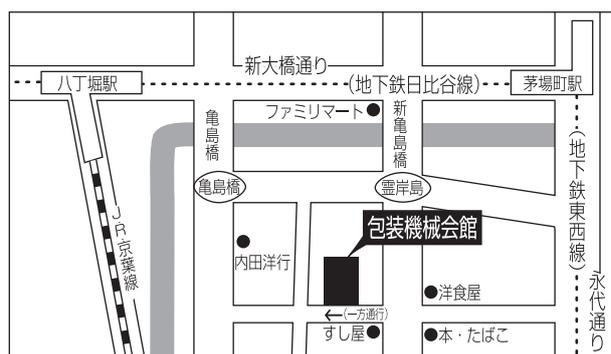


● 受講料の振込は、下記の銀行口座をご利用ください。  
取扱銀行：三菱UFJ銀行 八重洲通支店(普通預金1955300)  
口座名：一般社団法人 日本包装機械工業会  
口座名義 シヤ)ニホンホウソウキカイコウギョウカイ  
恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担願います。  
但し、いったん振込まれた受講料は、原則としてお返し致しません。

● 修了 本課程修了者には、修了証を授与します。

● 修了者の特典 ● 包装機械情報メール「P&M 通信」その他関係資料が送付されます。  
● その他、工業会主催の講演会に優待招待されます。

## ■ 会場



### 包装機械会館

東京都中央区新川2-5-6 〒104-0033

TEL 03-6222-2279

FAX 03-6222-2280

地下鉄日比谷線・茅場町駅・八丁堀駅より徒歩5分

地下鉄東西線・茅場町駅より徒歩5分

JR京葉線・八丁堀駅より徒歩5分

# 一般社団法人 日本包装機械工業会 第49期包装学校 入学願書

## 第1回 デジタル制御技術専門課程 モーション制御講座

<お申込方法>

当会ホームページ(<https://www.jpmma.or.jp/school/contact.html>)又は  
右記のQRコード先より申込み用紙をダウンロードいただき、  
電子データ(Excel・PDFファイル)にて、メール添付のうえ  
事務局アドレス『school49@jpmma.or.jp』までご送信ください



申込年月日	2022年	月	日
工業会会員	<input type="checkbox"/> 会員	<input type="checkbox"/> 非会員	(いずれかにチェックをご入力ください)

### 1. 入学者

ふりがな				生年月日(西暦)		
入学者氏名				年	月	日生 満( )歳
勤務先住所	〒					
会社名						
電話番号				F A X 番号		
所属役職名				現職経験	年 月	
E - m a i l				※各月の講座案内に使用致します お間違いが無いようご入力ください		
最終学歴	学校名			(西暦)	年	月 卒業・中退
実務経験	制御関連の仕事		<input type="checkbox"/> 無し	<input type="checkbox"/> 1年以上		
	PLCラダープログラミング経験		<input type="checkbox"/> 有り	<input type="checkbox"/> 無し		
希望日程	<input type="checkbox"/> A日程 10月25日(火)～10月27日(木) <input type="checkbox"/> B日程 10月31日(月)～11月2日(水) <input type="checkbox"/> どちらでも可		希望日程にチェックをご入力ください (※日程が集中した場合は、日程調整をさせていただきますのでご承知ください。)			

### 2. ご推薦者

<b>推 薦 書</b>						
一般社団法人 日本包装機械工業会内 包装学校事務局 御中 上記入学願書に記載の者は、包装学校の受講適格者であると認め、推薦致します。						
推薦年月日	2022年	月	日			
勤務先住所	〒					
会社名						
推薦者氏名				所属役職名		
E - m a i l				電話番号		

### 3. 請求書先 ご担当者

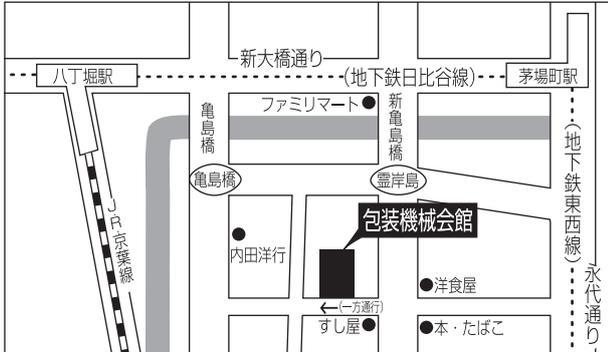
ご推薦者・入学者の方がご担当の場合は、下記にチェックを頂くのみで結構です <input type="checkbox"/> 推薦者と同様 <input type="checkbox"/> 入学者と同様						
担当者氏名						
所属役職名						
E - m a i l				電話番号		

担当・お問い合わせ先  
〒104-0033 東京都中央区新川2-5-6 包装機械会館3階 一般社団法人 日本包装機械工業会 包装学校事務局  
E-mail : school49@jpmma.or.jp TEL : (03)6222-2279 / (03)6222-2275 FAX : (03)6222-2280  
技術部 : 荒井 拓己・鈴木 由太加 総務部 : 長谷雄 仁

当会使用欄						
受付番号			受付月日	月		日

## 東京会場

- ・オリエンテーション・開講式会場
- ・グループディスカッション会場
- ・ディベートディスカッション会場・修了式会場
- ・デジタル制御技術専門課程会場



## 包装機械会館

東京都中央区新川2-5-6 〒104-0033

TEL 03-6222-2279

FAX 03-6222-2280

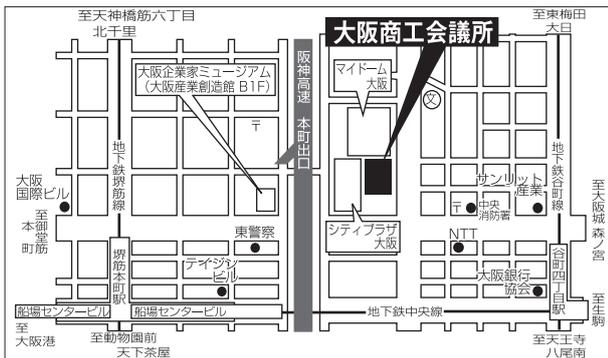
地下鉄日比谷線・茅場町駅・八丁堀駅より徒歩5分

地下鉄東西線・茅場町駅より徒歩5分

JR京葉線・八丁堀駅より徒歩5分

## 大阪会場

- ・オリエンテーション・開講式会場
- ・グループディスカッション会場
- ・ディベートディスカッション会場・修了式会場



## 大阪商工会議所

大阪市中央区本町橋2-8 〒540-0029

TEL 06-6944-6268

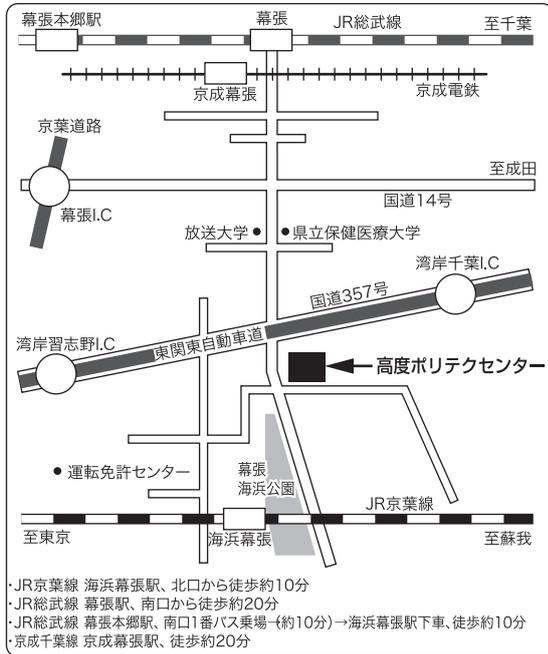
FAX 06-6944-6527

地下鉄堺筋線・堺筋本町駅より徒歩8分

地下鉄谷町線・谷町4丁目駅より徒歩8分

## 東京会場

・包装機械設計技術専門課程 実習講座会場



## 高度職業能力開発促進センター (高度ポリテクセンター)

千葉県美浜区若葉3-1-2 〒261-0014

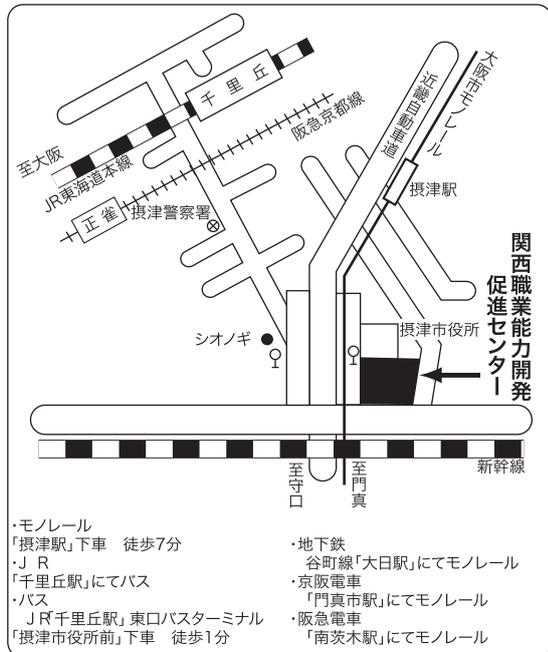
ダイヤル 043-296-2772

TEL 043-296-2580

FAX 043-296-2780

## 大阪会場

・包装機械設計技術専門課程 実習講座会場



## 関西職業能力開発促進センター (ポリテクセンター関西)

大阪府摂津市三島1-2-1 〒566-0022

TEL 06-6383-0064

FAX 06-6383-0961

## 助成金に関して

各都道府県により対応等が異なりますので、詳細に関してましては、下記お問い合わせ下さい。

### ■お問い合わせ先

・各都道府県労働局

又は下記ホームページ・QRコード先より

(人材開発支援助成金のご案内ー厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/000807259.pdf>



### ■個人情報について

本校に提出の入学願書に記載された個人情報の取扱は、本校研修の実地、運営等に関する範囲内に限って利用を行い、その他の目的には利用いたしません。

なお、修了者名、資格試験合格者名、勤務先名は包装機械情報メール(無料)「P&M 通信」に掲載いたします。

登録はこちらから、<https://www.jpmma.or.jp> 又は、



### ●包装学校長

大森機械工業(株) 代表取締役社長 大森利夫

### ●包装学校企画運営委員

企画運営委員長 大森機械工業(株) 取締役管理本部長 一岡幹朗

副企画運営委員長 大和製衡(株) 取締役管理本部長兼企画本部長 岡村剛敏

企画運営委員 イーデーエム(株) 技術本部開発部ゼネラルマネージャ 山口礼司

“ (株) C K D 自動機械事業本部PP事業統括部技術部 中島智

“ (株)東京自動機械製作所 MG営業部次長 渡辺広志

企画運営委員 (株)古川製作所 総務部副部長 山村憲司

企画運営委員顧問 城南自動機(株) 代表取締役会長 古城美武

企画運営委員アドバイザー イーデーエム(株) 代表取締役社長 安達拓洋

事務局 一般社団法人日本包装機械工業会 専務理事 金澤信

“ “ 技術部部長 栞矢隆一

“ “ 総務部次長 長谷雄仁

“ “ 技術部参事 鈴木由太加

“ “ 技術部 荒井拓己

一般社団法人  
日本包装機械工業会

〒104-0033 東京都中央区新川2-5-6 包装機械会館  
E-mail : [school49@jpmma.or.jp](mailto:school49@jpmma.or.jp)  
TEL : (03)6222-2279  
FAX : (03)6222-2280  
URL : <https://www.jpmma.or.jp/>

包装学校事務局  
担当・問い合わせ : 技術部  
鈴木 由太加、荒井 拓己  
総務部 長谷雄仁